

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------------|---------------|--|
| ○事業所名 | 本部町ことばの教室（児童発達支援） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 3月 17日 ~ 令和7年 5月 15日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 1名 | (回答者数) 1名 | |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 3月 17日 ~ 令和7年 5月 8日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 11名 | (回答者数) 10名 | |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 5月 27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 原則親子通園の形をとっており、利用児が安心して活動できる為、事業所に慣れるのが早い。保護者との情報共有もしやすい。 | 父母だけでなく、兄弟・祖父母など、利用児と関わりが深い家族にも来所してもらっている。 | 保護者も一緒に支援に関わってもらい、家庭と事業所が一体となった支援が提供できるようにしていく。 |
| 2 | 放課後等デイサービスも行っている為、幅広い異年齢児との交流がとれる。 | 一緒に活動できる行事を計画し、参加を促す。 | 利用時間が重なった時は、慣れた職員が間に入り、異年齢児との交流が円滑になるようにしていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--------------------------------------|---|
| 1 | 強みでもあるのだが、親子通園であることで、働いている保護者は時間の調整が難しく、利用回数が少なくなってしまう。 | 現在、共働きの家庭が多い為、保護者が付き添うことが難しくなってきている。 | 子どもが、事業所に慣れてきたら、単独での利用も検討する。 |
| 2 | 言語訓練の希望があるが、STが常駐していない。 | 人材不足。常勤としての採用が難しい為。 | 講師依頼をして、月1回STにきてもらっている。研修や勉強会などで、職員の知識を高め、よりよい支援ができるようする。 |